



レディパト隊が 意識向上に一役

戸沿右峰建設（本社・函館）の女性社員でつくる「マルワクリーン」（デパートロール隊）は7月31日、現場バトロールを実施した。経理課の3人が一般目線で現場を视察。社員一人となつて現場環境の向上を目指して

2018年度から活動を始め、4カ所目の現場訪問。「マルワ」は社旗の元になった「和」を中心的に、社員全員が協力して事業をもり立てる意味を込めた。環境改善に加え、イメージアップを図り、女性や若手技術者が活躍しやすい現場づくりにつなげる。

その後現場ではトイレにある手洗い用せつけんの位置を、所長の坂尻篤彦さんにアドバイス。現場職員は「思いがけない指摘があるので、いつも以上に緊張して現場をチェックするようになつた」と振り返る。

一般目線で現場観察

建戸沿岩嶺設
経理課の女性社員3人

視察したのは、函館開港場。まず事務所内で書類の整理状況に、使い勝手や省エネ、美観など、普段は現場に従事しない一般目線で隅々まで目を光^{.....}表示の分かりやすさもチ^{.....}エックした。

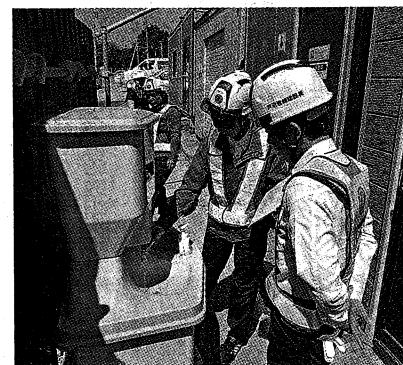
は一現場に対する電話対応も円滑になり、自分の仕事にもつながらない」と実感。木村正義常務は「衛生意識の効果は劇的。今後は安全講習を受けてもらい、安全面からも現場を見られるようになつてもらいたい」と手応えを感じている。

は「現場に対する電話対応も円滑になり、自分の仕事にもつながっていい」と実感。木村正義常務は「衛生意識の効果は劇的。今後は安全講習を受けてもいい、安全面からも現場を見られるようになつてもらいたい」と手応えを感じている。

女性職員によるパトロール 細やかな視点で現場を点検

戸沼岩崎建設が作業環境改善に向け

【函館発】戸沼岩崎建設㈱（函館、戸沼淳社長）は七月三十一日、同社が請け負う「函館新外環状道路函館市湯の沢改良」の現場で、女性職員によるパトロールを行った。女性ならではの視点を生かして、現場の衛生面を重点的にチェック。建設業のイメージアップに向け、働きやすい職場環境づくりを呼びかけた。



理謹の女性職員四人によるパトロールを行い、作業環境を改善することで、女性技術者や若手技術者が働きやすい職場をつくり、扱い手の確保を図る。

パトロールのチェックリストは女性職員が作成。事務所内の整理状況やトイレの衛生面を重点的にチェックした

パトロールチームを結成。一般目線や女性ならではの視点を生かした「c i e a nパトロール」を行い、作業環境を改善することで、女性技術者や若手技術者が働きやすい職場をつくり、扱い手の確保を図る。

パトロールは毎月一回、三人体制で実施。四回目となるこの日は、函館開港が整備を進める函館新外環状道路の整備の一環として、延長約九十㍍のボックスラーバートを施工する「函館新外環状道路函館市湯の沢改良」の現場を点検した。

一行ははじめに事務所内の整理整頓状況などを確認したあと、現場に移動。ト

レの衛生状況、省エネ対策、ごみの分別、工事現場の美観向上に配慮しイメージアップに努力しているかなど、衛生面を重点的に点検する。

パトロールは毎月一回、三人体制で実施。四回目となるこの日は、函館開港が整備を進める函館新外環状道路の整備の一環として、延長約九十㍍のボックスラーバートを施工する「函館新外環状道路函館市湯の沢改良」の現場を点検した。

一行ははじめに事務所内の整理整頓状況などを確認したあと、現場に移動。ト

イレの衛生状況や安全表示などの美観が良いかななどを確認した。講評では「事務所内は整理整頓され過ぎでしやすく、現場内も熱中症対策など作業しやすい環境」と評価。一方で「使用していない電化製品のコンセントを抜くな」として省エネ対策を図るよう呼びかけた。

パトロールに同行した木村正義常務は「衛生面の向上には効果てきめん。将来的には安全講習も受けてもらい、安全面に関してもチエックしてもらいたい」と話している。